

# 障害者支援施設とさ

## 事業の総括

土佐厚生会の基本理念・基本方針を遵守し、人権の尊重とプライバシーの保護に努めるとともに、人としての尊厳を重んじ、利用者一人ひとりの想いに沿った支援を心がけました。また、利用者、家族等との信頼関係をさらに深め、安全で安心して豊かな生活を送ることが出来る体制づくり、環境づくりに努めました。

障害者総合支援法に基づく指定障害者支援施設の人員、設備及び運営に関する基準に定める内容のほか、関係法令を遵守しました。

### 1 生活介護

生活介護を必要とする利用者に対し、昼間において入浴、排泄、食事等の介護を行うとともに創作活動等の機会の提供を図り、日中活動の充実に努めました。

### 2 施設入所支援

施設入所支援を利用する利用者に対し、昼間実施する生活介護の提供日・時間以外の夕方から翌朝における夜間等での生活を中心とする健康管理、排泄、食事、その他日常生活の支援に努めました。

## 事業の概要

### 1 質の高いサービスの提供に努めました。

- (1) サービスにあたっては、法令に沿った人員配置を維持して提供しました。(別紙1)
- (2) サービス管理責任者が中心となり、アセスメント、生活支援検討書作成、生活支援計画書作成、利用者への説明と承諾、支援実施モニタリングのプロセスごとに、チームアプローチを行う事により、利用者の状況やニーズ等をチーム全体として把握し、利用実施していない内容については、少なくとも6ヶ月に1回はサービス内容が適切か、また計画にそったサービスが行われているか等について評価を行いました。
- (3) 実施していない内容については、少なくとも6ヶ月に1回はサービス内容が適切か、また計画にそったサービスが行われているか等について評価を行いました。
- (4) 日常の支援を客観的にみて、ケアプランにそって提供されたサービスに効果が認められなかった場合は、再度、アセスメント修正やケアプランの修正を行うなどサービス提供体制の検討とサービス提供職員の資質や専門性の向上等への取組に努力しました。(別紙2)
- (5) 施設内のルールやハード面についても利用者に配慮した対応を心がけました。

### 2 事業の運営体制の充実に図りました。

- (1) 諸制度の見直しを把握しながら、事業運営の安定が図れるように努めました。
- (2) サービスの充実に図るためにサービスの基盤整備を図れるように努めました。
- (3) 報酬の加算にかかる検討を行い、専門的な支援体制を整えました。
- (4) 福祉事業の運営にあたっては、利用稼働率100%に向けて、年度ごとの目標を定め、利用者の確保に努めました。
- (5) 日中活動の場としての「生活介護」、夜間生活の場としての「施設入所支援」のサービス充実に努めました。日中活動の目標は以下のとおりでした。

利用者の笑顔・やりがいにつながる生活の支援

室内娯楽 外出・作業系 学習系 音楽、言語療法 園芸療法 その他

利用者の社会参加を促進する支援

社会参加（外出） 生産活動

利用者の機能低下防止と、自立生活に向けた支援

リハビリ

(6) 主な日中活動は、別紙 3 の内容で提供しました。

(7) 年間の主な行事は、別紙 2 - オのとおり実施しました。

(8) 各部署職員がそれぞれの業務内容を理解し、全職員相互に、「報告」・「連絡」・「相談」・「確認」の確立を図り、各部署が連携を密にし、チームワークをもって良質な福祉サービスの提供に努めました。

(9) 各委員会の活動および推進を、別紙 4 のとおり実施しました。

(10) 苦情や相談についても、別紙 5 のとおり対応しました。

### 3 職員の資質向上を図りました。

(1) 職員としての知識、技術、価値観を深めるため研修の実施と参加に努めました。また職種における業務の目的と責任範囲を明確にしました。

サービス管理責任者の仕事内容と業務目標

- ・利用者の状態を把握し、サービス提供開始から終了までの管理を行いました。
- ・サービスが利用者の意向に沿って提供がされているか等をサービス提供職員に対して指導、助言しました。
- ・ケア会議等を企画運営し、サービス提供職員の意思統一を図りました。
- ・様々な社会資源を活用し、地域生活への円滑な移行を図りました。
- ・施設長への連絡、報告を行い、障害者支援施設として利用者の自立と生活の質を高めるとともに、質の高いサービス達成に向けた体制の維持に努めました。

主任の仕事内容と業務目標

- ・職員指導（人事考課）に関わる事項
- ・リーダーの育成（リーダー会）
- ・運営方針、計画策定、周知、徹底、点検
- ・各部署間の連携（チームワーク、報告、連絡、相談、確認）
- ・各委員会活動の指導
- ・サービス管理責任者と連携し、利用者へ質の高いサービスの提供ができるよう協力しました。

リーダーの仕事内容と業務内容

- ・個別支援計画書、生活支援実施書に沿った支援
  - 個別支援計画書の理解と徹底指導
  - 利用者の実態把握
- ・接遇の基本的姿勢の徹底指導
  - 利用者の自立（自己決定、自己選択）に立った支援
  - 利用者のニーズを尊重する支援
  - 利用者のエンパワメントの向上を目指す支援
  - 利用者の人権を尊重した支援
- ・事例研修（実践のまとめ）

(2) 福祉理念や事業の見直し、目標、事業計画についての徹底を図りました。

(3) 適正な支援計画の作成とそれに基づく日常支援が適切に出来る職員の育成に努めました。施設外研修状況は、別紙 6 のとおりです。

- 4 快適な施設環境作りのための施設整備の充実とその維持管理に努めました。
- (1) 利用者が安全で安心して日常生活が送れるように、施設内外の環境について、常に問題意識を持ちながら改善することでサービスの向上に努めました。
  - (2) 保守点検・修理、および花壇等の整備を継続し、利用者が住みやすく、心安らく環境作りに努めました。
  - (3) 施設設備の状況は、別紙7のとおりです。
- 5 地域福祉の拠点としての施設づくりに努めました。
- (1) ショートステイおよび障害者就労継続支援B型事業所カトレアと一体となり、多機能型「とさゾーン」として充実した内容を備えた地域福祉サービスの提供を行いました。
  - (2) 施設のホームページ等で、広く福祉サービスの情報を提供するよう努めました。
  - (3) 地域住民、施設ボランティア等との交流を深め、地域住民の一員としての自覚を促し、社会的文化的活動への参加を勧めました。
  - (4) 地域の学校との交流や福祉専門学校等の実習生を受け入れ、福祉人材への育成に努めました。(別紙8)
  - (5) 地域住民や在宅障がい者等との結びつきを大切にすると共に、市町村、医療、保健、教育その他福祉サービス事業者及び関係団体との連携を図り、地域福祉とのニーズに応えることで、開かれた施設づくりを目指しました。(別紙9)
- 6 利用者の尊厳を旨とした支援を行いました。
- (1) 利用者の人権尊重とプライバシーの保護に努めると共に、利用者の意向を尊重した福祉サービスの提供に努めます。
  - (2) 事業所は、利用者に対する身体拘束廃止について、「身体拘束廃止等検討会」の機能を発揮させ、迅速かつ適切な処置を講ずるよう努めます。
  - (3) 事業所は、利用者に対する虐待防止について、「虐待防止委員会」の機能を発揮させ、迅速かつ適切な処置を講ずるよう努めます。
  - (4) ご家族へ利用者の日常生活状況などの情報発信に努めました。
- 7 防災対策に努めました。
- (1) 防災計画の見直しと立案を行いました。
  - (2) 避難訓練および消火訓練の実施を別紙10のとおり行いました。
  - (3) 地震に対してのマニュアル作成を行いました。

## 利用者の概要

### 1 利用契約の状況（生活介護および施設入所支援）（平成26年3月31日現在）

障害程度区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
生活介護	0人	0人	8人	16人	23人	26人	73人
施設入所支援	0人	0人	4人	15人	17人	15人	51人

## 2 障害別人員（入所支援）

		脳 性 マ ヒ	脊 髄 損 傷			脊 髄 マ ヒ	脳 血 管 障 害 後 遺 症	頭 部 外 傷 後 遺 症	リ ュ ウ マ チ	進 行 性 筋 萎 縮 症	そ の 他	計	左 の 内		
			ケ イ 髄 損 傷	脊 髄 損 傷	小 計								精 神 病 併 発 者	視 覚 障 害 保 持 者	聴 覚 障 害 保 持 者
性 別	男	4		1	1		10	5	1	1	11	33		2	1
	女	5		1	1		5				7	18	2		
	計	9		2	2		15	5	1	1	18	51	2	2	1
手 帳 等 級 別	1 級	4		2	2		13	5		1	14	39		1	1
	2 級	3					2		1		3	9	1	1	
	そ の 他	2									1	3	1		
	計	9		2	2		15	5	1	1	18	51	2	2	1
年 齢 構 成	20 歳未満														
	20 ~ 29	2									2	4			1
	30 ~ 39							1				1			
	40 ~ 49	3									4	7	1	1	
	50 ~ 59	2					2	2		1	1	8			
	60 ~ 64										4	4	1		
	65 ~ 69	1					9	2	1		4	17			
	70 歳以上	1		2	2		4				3	10		1	
計	9		2	2		15	5	1	1	18	51	2	2	1	

## 3 主たる障害の原因

	事 故					疾 病				合 計
	交通事故	労働災害	その他の 事故	戦傷病 戦 災	小計	先天性	後天性	その他	小計	
男	5	1	1		7	9	17		26	33人
女	2		2		4	3	11		14	18人
計	7	1	3		11	12	28		40	51人

## 4 利用者の身元引受人の状況

親	配偶者	子 供	兄弟姉妹	親 族	その他	合 計
11人	6人	7人	21人	5人	1人	51人

## 5 利用者の年齢の状況

	最 年 少	最 年 長	平 均
男	21才	80才	52.5才
女	21才	76才	49.3才
全 体	21才	80才	51.2才

6 日常生活動作等の状況

介助の項目	一部介助	全介助	備 考
食事介助	2人	7人(経口) 3人(経管)	一部：スプーン等を使用し、一部介助すれば食事ができる。 全部：臥床のままで食事介助を要する。
排泄介助	18人	11人	一部：介助があれば簡易便器及びトイレでできる。 夜間おむつを使用する。 全部：常時おむつを使用する。
着脱衣介助	22人	20人	一部：手を貸せば着脱できる。 全部：自分でできないのですべて介助を要する。
入浴介助	33人	14人	一部：身体を洗うときや浴槽の出入りに介助を要する。 全部：自分でできないのですべて介助を要する。 特殊浴槽を利用する。
歩行介助	8人	16人	一部：付添が手や肩を貸せば歩ける。 全部：車椅子等への移乗に介助を要する。
寝返り介助	8人	6人	一部：少し手を貸せば寝返りできる。 全部：1人では寝返りできないのですべて介助を要する。
車椅子使用者	45人		
知的(精神)障害者	8人		
おむつ使用者	10人(7)		夜間のみ、おむつ使用者は( )書き
褥瘡者	1人		施設内で発症 1人
			施設外で発症 0人

7 月別在籍状況及び理由別入退所状況(施設入所支援)

	在籍者数 (月初)	入所前の状況(人)						退 所 理 由(人)							
		家庭	医療機関	同種施設	多種施設	その他	計	社会復帰		入院	同種施設	多種施設	死亡	その他	計
								就職	自営						
24年4月	51														
5月	51									1					1
6月	50														
7月	50												1		1
8月	49														
9月	49	1				1			1						1
10月	49				1	1									
11月	50														
12月	50														
25年1月	50		1			1							1		1
2月	50														
3月	50				1	1									
計	599	1	1		2	4			1	1			2		4

別紙1 職員の配置状況

施設長	施設長補員	事務員	サービス管理責任者	理学療法士	医師	看護師	栄養士	生活支援員	夜間警備員	用務員	合計
1	1	4	2	0.9	1(1)	3.9	1	32.7	1	1.3	49.8人(1)

数字は常勤換算、また( )内の数字は、嘱託医師の人員。平成26年4月1日現在

別紙2 日常生活の支援

ア 日課

	月	火	水	木	金	土	日
6:00	起床	起床	起床	起床	起床	起床	起床
7:40	朝食	朝食	朝食	朝食	朝食	朝食	朝食
8:30	送迎	送迎	送迎	送迎	送迎		
9:30	巡回・入浴	巡回・入浴	巡回・入浴	巡回・入浴	巡回・入浴	巡回	巡回
10:00	職員朝礼	職員朝礼	職員朝礼	職員朝礼	職員朝礼	朝礼・入浴	職員朝礼
10:30	日中活動	日中活動	日中活動	日中活動	日中活動		シーツ交換
11:00							うたの集い
11:40	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食
13:00	巡回・入浴	巡回・入浴	巡回・入浴	巡回・入浴	巡回・入浴	巡回	巡回
13:30	日中活動	日中活動	日中活動	日中活動	日中活動	入浴	
14:00							カラオケ 余暇活動
15:00	ミーティング	ミーティング	ミーティング				
15:30	巡回	巡回	巡回	巡回	巡回	巡回	巡回
15:45	送迎	送迎	送迎	送迎	送迎		
16:30	ふれあいタイム	ふれあいタイム	ふれあいタイム	ふれあいタイム	ふれあいタイム	ふれあいタイム	ふれあいタイム
17:15	引き継ぎ	引き継ぎ	引き継ぎ	引き継ぎ	引き継ぎ	引き継ぎ	引き継ぎ
17:30	夕食 就寝介助	夕食 就寝介助	夕食 就寝介助	夕食 就寝介助	夕食 就寝介助	夕食 就寝介助	夕食 就寝介助
20:00	巡回	巡回	巡回	巡回	巡回	巡回	巡回
22:00	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯

通所休業日月当たり8日とし午前と午後の送迎はありません。

日中活動 月1回集い 及び懇談会・シーツ交換 月3回実施、うたの集い 月1回実施

イ 入浴

	一般浴	特別浴(機械入浴)	備考
入浴対象者	37人	14人	当日入浴できなかった利用者については、清拭または次回入浴で対応しました。
1人当たりの回数	3回/週	3回/週	
入浴日	月~土	月~土	
男性入浴時間	月 13:00-15:00 火 9:30-11:30・14:30-15:30 水 13:00-15:00 木 9:30-11:30・14:30-15:30 金 9:30 - 12:00 土 10:00-15:30	月 13:00-15:00 火 9:30-11:30・14:30-15:30 水 13:00-15:00 木 9:30-11:30・14:30-15:30 金 9:30 - 12:00 土 10:00-15:30	
女性入浴時間	月 9:30-12:00 水 9:30-12:00 金 13:00 - 15:30	月 9:30-12:00 水 9:30-12:00 金 13:00 - 15:30	
入浴人員	男性 23人/回	男性 10人/回	
	女性 14人/回	女性 4人/回	
介助の人員	9人/回	9人/回	

ウ おむつの回数および種類

おむつ交換の回数	1日定期8回(夜間4回)他随時
おむつの種類	紙おむつまたは布おむつ

エ 生活利便のサービス

	内 容
預金引出(銀行)	毎週木曜日に銀行員が来所し利用者の通帳処理を行う。
買物	毎週土曜日に希望日用品を代行して購入してくる。
ミニ売店	毎週水曜日に施設内で菓子類を販売する。
衣料品の販売	業者に来所をお願いして、年4回衣料品を販売する。

オ 施設の行事

行 事 名	年月日	実施場所
花見外出	H25.4.2 H26.3.24~H26.3.31	波介川沿い 針木浄水場
辻幹雄コンサート	4/25	施設内
高知リハビリテーション学院 吹奏楽部 演奏会	4/28	施設内
くろしお病院 講演	5/14	施設内
ピアガーデン	6/7、7/12、7/26、8/16、8/30	施設内
ふれあい交流会	6/29	施設内
高知リハビリテーション学院 よさこい踊り	8/9	施設内
高知リハビリテーション学院 作業療法学科特別講義(音楽療法)	8/26	施設内
シニアセレモニー	9/16	施設内
彼岸の法要	9/19	施設内
月見祭り	9/21	施設内
涼風祭	10/27	施設敷地内
ワックスがけ	11/17、11/23、11/24	施設内
ファーマシー外出	12/2	大豊町
高石小学校 交流会	12/3	施設内
クリスマス忘年会	12/21	施設内
新春の祝い	1/1	施設内

豆まき	2/3	施設内
桃祭り	3/1	施設内
波介小学校5年生交流会	3/3	施設内
彼岸の法要	3/20	施設内

## カ 健康管理

### 看護師による処置の内容

	人数	備 考
経管栄養	3人	
バルンカテーテル留置	7人	
吸引/吸入	1人	随 時
慢性創傷及び皮膚科処置		随 時
その他の処置		

### 健康診断の状況

	区分	利用者	職 員	計
胸部検査	対象者数	63	51	114
	受診者数	63	49	112
	直接撮影者	63	49	112
精密検査	精密検査対象者	4	1	5
	精密検査受診者数	4	1	5
	断層撮影者数	4	1	5

利用者は土佐市民病院で胸部撮影を実施し、34歳以下の職員とカトリア利用者においては、嘱託医の伊与木クリニックにて実施しました。

### インフルエンザ予防接種の状況

	男性	女性	計
利用者	39	21	60
職 員	24	30	54

介護デイサービスセンターとさ、カトリア、古里の家各利用者も、予防接種を実施しました。

### 協力病院の状況

名 称	診療科目	所 在 地
土 佐 市 民 病 院	内科/外科/その他	土佐市高岡町甲 1867
細 木 病 院	内科/外科/その他	高知市大膳町 37

### 医療機関受診の状況

(単位：回)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内 科	4	11	9	7	3	4	2	8	11	7	4	7	77
外 科	3	0	0	2	0	3	2	0	3	2	1	5	21
脳神経外科	3	7	5	3	8	3	2	3	3	5	3	2	47
整形外科	3	5	2	6	6	3	2	4	3	3	3	2	42
泌尿器科	3	3	3	2	3	2	4	3	3	2	5	0	33
眼 科	2	0	1	0	1	2	1	2	1	1	3	3	17
耳 鼻 科	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
皮 膚 科	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	3
精 神 科	3	4	0	4	5	3	2	5	2	3	4	3	38



歯科	3	2	1	1	1	1	1	2	4	0	0	0	16
婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
その他	0	1	0	0	1	0	1	1	1	1	1	1	8
計	24	34	21	26	28	22	17	29	33	24	24	23	305

入院の状況

(単位：回)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内科	1	3	1	2	3	1	0	1	0	1	0	1	14
外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脳外科	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	3
精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
計	2	3	1	2	3	1	0	1	1	2	1	1	18

キ 健康管理

職 種	人員	実施日	実施時間
理学療法士	1名	月曜日～金曜日	9:00～12:00 13:00～17:15

- ・対象者は障害者支援施設とさ、介護デイサービスセンターとさの利用者でした。
- ・生活リハビリテーションを重視し、各部署と連携しながら、利用者一人ひとりの障害の状況や年齢に応じた機能訓練を計画的に実施しました。
- ・利用者の身体的・精神的現状を把握した上で、障害を克服するように自立意識を引き出し、残存機能の維持向上に努めました。
- ・利用者の高齢化や障害の重度化に伴い、排泄・入浴・摂食などの日常生活の処遇方法について各部署と連携をとりながら、一人ひとりの最大能力の保持と健康の増進に努めました。
- ・利用者一人ひとりの能力に応じたトランスファーの方法を指導するとともに、施設内外での転倒事故等の防止に努めました。
- ・利用者の補装具や自助具および車椅子などの検討、管理や調整などを実施し、日常生活の支援に努めました。

ク 食事の提供

栄養量

	I値キ - kcal	蛋白質 g	脂質 G	カルシウム mg	鉄 mg	ビタミンA ug	ビタミンB1 mg	ビタミンB2 2mg	ビタミンC mg
H25年4月	1,715	65.5	47.2	555	7.2	528	0.77	0.97	73
5月	1,712	66.5	47.0	573	7.8	494	0.80	0.97	69
6月	1,784	68.8	51.7	643	8.6	644	0.81	1.05	71
7月	1,702	66.6	47.3	578	7.9	644	0.80	0.98	61
8月	1,690	64.5	44.4	587	7.6	583	0.80	0.95	77
9月	1,664	61.1	45.2	543	7.1	376	0.73	0.88	61
10月	1,687	65.1	45.3	557	7.3	400	0.74	0.91	64
11月	1,698	64.4	47.3	574	7.5	604	0.79	0.96	62
12月	1,700	65.8	46.5	592	7.5	586	0.77	0.93	60
H26年1月	1,637	60.1	45.0	520	7.3	401	0.78	0.90	62
2月	1,669	64.3	45.4	543	7.2	505	0.76	0.91	64
3月	1,700	63.9	46.1	553	7.4	592	0.77	0.94	62
平均	1,697	64.7	46.5	568	7.5	530	0.78	0.95	66

### 嗜好 of 把握と献立反映

嗜好調査（年 1 回）・残食調査（毎食）・給食委員会（年 1 2 回）をもとに行事食、献立、選択食に反映しました。

### 快適な食事への配慮

- ・温冷配膳車を使用し、乾燥予防のふたやラップをかけ、生野菜は別皿に盛り付けました。
- ・深鉢、平皿、ラーメン鉢、角皿など献立にあった食器を使うように配慮しました。
- ・吸盤皿、特殊スプーン、滑り止めマットなどの自助具を活用しました。
- ・身体的機能に応じた食事（おかゆ・軟飯・一口大・荒刻み・細刻み等）をその時の症状に合わせて提供するよう努めました。
- ・医師、看護師及び支援員と常に連絡を取り、書面にて回覧、確認を行いました。
- ・選択食の聞き取りの際などに食事、栄養等への問い合わせについて返答し、バランスの良い食事が摂れるようアドバイスを行いました。

### 別紙 3 日中活動

種目	目 標	実施内容
室内娯楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知能力を高める</li> <li>・協調性を養う</li> <li>・心身のリラックス</li> <li>・感受性を向上させる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もぐらたたき・魚釣り・風船バレー・すごろく・ヨーヨー釣り</li> <li>・かるた・ビンゴ・卓球バレー・的あて・ボールゲーム・DVD鑑賞</li> <li>・選択クイズ・トランプ・玉入れ・スカットボール・しりとりに・パルンホッケー</li> <li>・ゲーム(Wii)・駒回し、けん玉</li> </ul>
作業系	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団（社会）適応能力を高める</li> <li>・手指の細かい動作能力を高める</li> <li>・心身の耐久性を高める</li> <li>・協調性、思考性、感受性を養う</li> <li>・意思・意欲の向上</li> <li>・認知能力を高める</li> <li>・生活のリズムを整える</li> <li>・自立生活能力を高める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・焼うどん・クレープ・ふわとろ・かき氷・カナッペ</li> <li>・フルーツポンチ・たこ焼き・おはぎ・チヂミ</li> <li>・クリスマスケーキ・じゃが芋磯辺焼き・ゼリー</li> <li>・団子・ミックスジュース</li> <li>・スピリットアート展出品作品・箸置き・玉のれん</li> <li>・ひな人形・コースター・節分の箱作り・正月飾り</li> <li>・クリスマスカード・キャンドル作り・万華鏡</li> </ul>
学習系	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団（社会）適応能力を高める</li> <li>・手指の細かい動作能力を高める</li> <li>・認知能力を高める</li> <li>・協調性を養う</li> <li>・思考性を養う</li> <li>・感受性を向上させる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書・脳トレ・写真・書道・ペグボード・ぬり絵</li> <li>・絵手紙・クロスワード・カレンダー作り・ビンゴ</li> <li>・新聞作り・折り紙・間違い探し・ひな人形作り</li> <li>・文字学習・カード作り・チラシ作成・朗読</li> <li>・スピリットアート展出品作品</li> </ul>
音楽療法系	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スキンシップやリラックス</li> <li>・仲間作りや雰囲気づくり</li> <li>・発声訓練と精神的なリラックス</li> <li>・手足、身体の体操</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リズム音楽・音楽体操・カラオケ・音楽療法</li> <li>・音楽鑑賞</li> </ul>
園芸療法系	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作物の成長の育つ過程の変化に触れ、感動を得て、心を活性化させる。又、収穫の喜びを感じる。</li> <li>・手・指の操作性</li> <li>・身体の動き</li> <li>・観賞、食する喜び</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なす・ミニトマト・サニーレタス・そら豆・トマト</li> <li>・大根・エンドウ豆・コケ盆栽装飾・カブ・ひまわり</li> <li>・干し芋づくり・園芸の新聞づくり・作物や畑の鑑賞</li> <li>・収穫したものを調理、鑑賞、記録等を行いました。</li> </ul>
外出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気分転換</li> <li>・社会参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買物・ドライブ・花見・パチンコ</li> </ul>
生産活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会参加</li> <li>・協調性や自活能力を高める</li> <li>・意思や意欲の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手作りパン販売</li> </ul>

機関紙編集	・思考力を養う ・仲間づくり	・打ち合わせ、誌面づくり、校正、送付準備など
その他	・清潔保持・心身のリラックス ・意思・意欲の向上 ・感受性を高める	・メイクアップ・ハンドケア・ネイルケア・ヘアメイク・美食・ポスター作り

#### 別紙4 会議および委員会の活動

##### ア 施設運営関係

名称	頻度	回数	記録	参加者	備考(主な議題等)
職員会	月1回	12	有	職員	施設運営全般に関する連絡、研修、意見交換及び話し合い、研修報告など
安全衛生委員会	月1回	12	有	施設長・部署の代表者等	職員の安全と保健衛生に関する事柄を検討する
施設運営委員会	定例会 年3回 月例会 年9回	12	有	施設運営委員・施設長・サービス管理責任者	利用者、家族等からの苦情・意見等の対応とその協議、利用者との施設運営委員との意見交換
連絡会	月～金		有	施設長・部署の長	日々の利用者の状態、各部署からの連絡事項、行事等の確認、緊急な検討事項の協議等
主任者会	月1回	12	有	施設長・部署の長	施設運営検討事項の協議

##### イ 利用者サービス関係

名称	頻度	回数	記録	参加者	備考(主な議題等)
懇談会	月1回	12	有	施設長・部署の長	利用者との意見交換、施設の状況、時事問題の説明等
つどい	月1回	12	有	施設長・部署の長	各部署、自治会からの連絡と利用者との意見交換
自治会連絡会	月1回	12	有	自治会役員・施設長・部署の長	月間計画、利用者の意見・要望等を協議
給食委員会	月1回	12	有	自治会役員・施設長・部署の長・栄養士	自治会役員を交え、日々の献立にかかる意見・要望を協議
個別支援計画策定会議	不定期	50以上	有	施設長・部署の長	個別支援計画についての検討
サービス改善委員会	月1回	12	有	施設長・サービス改善委員	業務改善の評価、サービス内容の検討
事故防止委員会	月1回	12	有	施設長・事故防止委員	施設内事故の調査、原因究明、事故防止対策を検討
虐待防止委員会	月1回	12	有	施設長・虐待防止委員	虐待防止に向けた意識調査や学習会の実施
身体拘束廃止等検討会	年4回	4	有	施設長・身体拘束廃止委員	利用者への身体拘束の廃止・身体拘束継続の検討

#### 別紙5 苦情や相談

##### ア 苦情・相談の体制

苦情解決責任者	施設長
苦情等の申出窓口	サービス管理責任者

イ 苦情や意見等の状況

受付先	施設内の問題	その他の問題	計
とさの苦情等の申出窓口	0	0	0回
とさ地区施設運営委員会	1	0	1回

別紙6 施設外研修の状況

研修・セミナーの名称	月日(開催期間)	場所	人数	参加者
社会福祉法人合同視察研修	6月10日～12日	東京都	5	支援員
鳥取県・先進施設施設見学	6月17日～18日	鳥取県	5	施設長、サビ管、支援員
第37回身障協研究大会	7月3日～6日	鹿児島県	4	施設長、サビ管、支援員
第35回全国福祉施設士セミナー	7月9日～10日	東京都	2	施設長、サビ管
山口県・先進施設施設見学1班	7月23日～24日	山口県	4	サビ管、PT、支援員
山口県・先進施設施設見学2班	8月13日～14日	山口県	4	サビ管、支援員
平成25年度施設長実学講座	9月25日～26日	東京都	1	施設長
第38回中四国身障協職員研修大会	10月3日～4日	高知市	12	施設長、サビ管、支援員、看護師
障害者虐待防止権利擁護研修	12月4日～5日	高知市	1	支援員
高知県介護福祉士会 フォローアップ研修	10月22日	高知市	1	支援員
第29回中国四国ブロック 福祉施設士セミナー	11月12日	高知市	5	施設長、サビ管、支援員
初級リスクマネジメント養成講座	12月3日～4日 2月24日～26日	東京都	1	サビ管
第64回高知県社会福祉大会	1月15日	高知市	2	施設長、看護師
第22回教育研究会	2月14日	栃木県	2	施設長、サビ管
平成25年度高知県身体障害者(児) 施設協会 生活部会	3月20日	高知市	4	施設長、サビ管、看護師、栄養士

サービス管理責任者と生活支援員(介護)をそれぞれ「サビ管」、「支援員」と略する。

別紙7 施設設備の状況

- ・快適で潤いのある生活環境を作るよう努めました。
- ・安心で快適な日常生活が送れるように努めました。
- ・施設整備の改善、改修工事は以下のとおりです。

ア	4月 厨房水栓バルブ取替	1 6 8 千円
イ	9月 食堂ホール テーブル設置	8 2 6 千円
ウ	9月 非常用発電機蓄電池交換	2 9 4 千円
エ	10月 南棟1階男子トイレ小便器修理	3 3 6 千円
オ	10月 居室カーテン取替	2 , 1 5 2 千円
カ	1月 シャワーキャリー	1 1 2 千円
キ	3月 三菱電機プラント周波数計交換	2 0 2 千円

別紙 8 地域福祉への貢献

学校・団体名	年月日	人数	実習・研修内容
平成福祉専門学校	H25.6.17～H25.7.20	2人	第2学年第3段階
平成福祉専門学校	H25.10.15～H25.10.25	2人	第1学年第1段階
平成福祉専門学校	H26.1.20～H26.2.8	2人	第1学年第2段階

別紙 9 地域住民との交流

行事名	年月日	実施場所
花見外出	H25.4.2 H26.3.24～3.31	波介川沿い 針木浄水場
辻幹雄コンサート	4/25	ケアビレッジとさ
高知リハビリテーション学院吹奏楽部演奏会	4/28	施設内
ローサナ コンサート	5/14	純信の里
さつきまつり	6/1	波介小学校
障害者スポーツ大会	6/2	春野町
ピアガーデン	6/21、7/12、7/26、8/16、8/30	施設内
波介山清掃	6/9、10/6	波介地区
すみれ保育園 夕涼み会	7/6	すみれ
波介地区 納涼祭	7/27	波介部落
高知リハビリテーション学院よさこい踊り	8/9	施設内
高知リハビリテーション学院 作業療法学科特別講義（音楽療法）	8/26	施設内
クロパン・クロボン ライブ	9/17	純信の里、イワゴ
波介小学校 運動会	9/29	波介小学校
スピリットアート表彰式	10/10	県立美術館
高知リハビリテーション学院 学院祭	10/13	土佐リハビリ学院
涼風祭	10/27	施設内
土佐市ふれあいフェスタ	11/3	とんぼ公園
ファーモニー外出	12/2	大豊町
高石小学校 交流会	12/3	施設内
波介小学校5年生交流会	3/3	施設内

別紙 10 防災訓練の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
避難誘導		5/29						11/26					2回
消 火		5/29						11/26					2回
通 報		5/29						11/26				3/24	3回
地 震										1/22			1回
図 上		5/29						11/26				3/24	3回
夜間避難		5/29						11/26					2回
救 急 法											2/12		1回

別表 1

# 障害者短期入所事業所とさ

## 事業の総括

当事業所は障害者支援施設とさに併設されるものであって、事業は障害者支援施設とさに準じて実施しました。

## 事業の概要

1 障害者自立支援制度に伴う職員の配置状況は次のとおりでした。

施設長	事務員	サービス管理責任者	理学療法士	医師	看護師	栄養士	生活支援員	夜間警備員	用務員	合計
1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	3(3)	1(1)	1(1)	12(12)

平成26年3月31日現在。ただし、( )内は兼務

2 短期入所利用者に対する日常生活の支援は本体の療護施設利用者の処遇に準じて行い、具体的な内容は次のとおりでした。

- (1) 安全で安心して生活を営むことができる設備の維持管理と環境の保持に努めました。
- (2) 自立生活を促進するに必要な支援と相談を行いました。
- (3) 基本的な日常生活の支援を行いました。
- (4) 医療ケアと適切な技術に基づいた助言を行いました。
- (5) 適切な食事の提供と健康の保持に努めました。

3 利用者の状況はおおむね次のとおりでした。

(1) 市町村別、年齢、性別、障害の程度区分など

市町村名	年齢	性別	程度区分	延利用日数
高知市	38	男	5	148
高知市	32	男	6	6
高知市	29	男	6	4
高知市	39	女	5	91
高知市	47	女	4	15
高知市	54	女	4	2
土佐市	47	男	3	167
土佐市	35	男	6	105
土佐市	26	男	4	91
土佐市	36	男	5	74
土佐市	28	男	6	20
土佐市	31	男	6	10
土佐市	31	男	6	10
土佐市	53	女	3	120
土佐市	34	女	6	31

市町村名	年齢	性別	程度区分	延利用日数
土佐市	42	女	4	26
土佐市	45	女	5	8
土佐市	51	女	6	2
いの町	63	男	3	97
日高村	65	男	5	98
日高村	47	女	5	6
佐川町	59	男	3	4
佐川町	22	女	5	14
計	23人			1149日

# 老人デイサービス事業所デイサービスとさ

## 事業の総括

- 1 加齢に伴って心身に変化を来す事の実態を踏まえ、最も支援を必要とする高齢者に対し、安全で安心して日常生活が出来るよう介護サービスを提供するとともに、その培ってきた知識と経験を生かして、心身の健康保持、社会的活動に参加できるよう支援しました。
- 2 職員は、会是「愛情」、「奉仕」、「連帯」の精神を遵守し、個人の尊厳とプライバシーの保護に努めるとともに、標語「愛・信頼・協同」を基本として、利用者を中心に据え、全職員協同して福祉サービスの提供に努めました。
- 3 利用者個々に対する介護サービス計画に基づき、土佐市・春野町に在住する常時介護を必要とする在宅の利用者の自立の促進、生活の改善、心身機能の向上をはかるとともに、入浴、排泄、食事等の介護支援、創作活動、機能訓練、社会適応訓練等の各種サービスを提供しました。
- 4 地域社会や在宅者との結びつきを重視し、市町村、医療、保健およびその他福祉サービスを提供する事業者と連携を保持し、地域住民の福祉ニーズに応える活動を行いました。

## 事業の概要

- 1 質の高いサービスの提供に努めました。

- (1) 各職域において、目標管理制度を導入し職員に徹底、職場内研修の充実に努めました。
- (2) 利用契約の状況は次のとおりです。

利用時間	要支 (軽度)	要介護 1~2(中度)	要介護 3~5(重度)	合計	備考
6時間以上 8時間未満	2人	3人	7人	12人	併設型

- (3) 利用契約の状況は次のとおりでした。

	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	稼働日数	1日平均
4月	17	12	8	33	13	0	83	21	4
5月	16	11	7	29	13	0	76	21	3.6
6月	15	12	8	25	13	0	73	20	3.7
7月	10	9	7	25	14	0	65	22	3
8月	9	8	9	24	21	0	71	22	3.2
9月	9	7	7	26	30	0	79	19	4.2
10月	7	8	8	31	40	0	94	21	4.5
11月	7	7	7	24	35	0	80	19	4.2
12月	8	7	4	25	27	0	71	20	3.6
1月	7	7	0	26	26	0	66	19	3.5
2月	7	8	0	23	18	0	56	18	3.1
3月	8	9	0	28	25	0	70	20	3.5
合計	120	105	65	319	275	0	884	242	3.6
1日平均	0.5	0.43	0.27	1.32	1.14	0	3.65		

- (4) 職員の配置状況は次のとおりでした。

施設長	生活相談員	理学療法士	看護師	栄養士	介護員	合計
1(1)	2(1)	1(1)	1(1)	1(1)	4(3)	10人(8)

( )内は、臨時または兼務職員とし、合計人員に含まれます。